



プロジェクト名称

石垣島を元気にするプロジェクト

プロジェクト活動概要

石垣島を含む沖縄県八重山諸島は世界でも貴重なサンゴ生息域となっている。現在、このサンゴ礁が「地球温暖化による海水温の上昇」・「生活排水」・「農地からの赤土(耕土)流出」など複数の要因により、白化・死滅の危機にある。そこで本プロジェクトは石垣島独自の地域の問題である「赤土流出」という視点から石垣島のサンゴ礁保全を行っているが、国や県からの十分な補助金が得られない等の理由から赤土流出対策はされておらず、サンゴ礁の白化・死滅は加速している。

活動状況報告 & 活動写真など【活動期間:2012年6月18日～9月30日】

当プロジェクトの今年度活動目標にサンゴ礁保全意識の啓発がある。その意識の啓発を起こすために私たちは「新マップ」と「ロゲイニング」の2つを軸に活動を行っている。夏休みに行った現地調査でもその2つについての活動を行った。

1.新マップ

当プロジェクトでは今まで、赤土流出防止対策を促すため農家の方々の経済援助を促すため地産地消マップというものを配布してきた。しかし地産地消マップのシステムを確立するまでには至らず、サンゴ礁保全につながらなかったため、新マップを作成するに至った。既存の地産地消マップは農地からの赤土流出という点だけに着目してきたが、新マップでは赤土流出だけでなく、様々な観点からサンゴ礁保全に繋げていく。今回の現地調査で行ったことは新マップに掲載させていただき島民の方々に掲載の許可をいただいたり、新マップの内容についてのミーティングを行った。

2.ロゲイニング

ロゲイニングとは地図とコンパスを持って制限時間以内に指定されたポイントを回るスポーツである。このロゲイニングを石垣島で行うことでサンゴ礁保全の意識の啓発を行う。具体的にどのようにしてサンゴ礁保全へと繋げるのか

①マップの中にサンゴ礁の現状について記載したり、ポイントの中にサンゴ礁との関連を作る。ポイントにはAP(アクティビティポイント)とPP(ピクチャーポイント)の二種類を用意し、それらのポイントを回ってもらう。

②ロゲイニング中に参加にサンゴと関連のある写真をとってもらい、優秀な写真を撮った方にはロゲイニングとは別に表彰する。

③ロゲイニング後には参加者にはサンゴを用いたアート作品を作成してもらうことで、サンゴが白化していく過程に興味を持ってもらう。

などを予定している。夏の現地調査ではロゲイニングを行う場所の選定やポイントとなるような場所探しを行った。

ロゲイニングを行う場所として候補に挙げたのが白保、市街地、伊原間の3地域である。実際に現地を歩き回ったところサンゴ礁との関連があるポイントが多いのは伊原間地域であったので伊原間地域でロゲイニングを実施する。

今回のロゲイニングでは、自分たちが石垣島にいない間にも準備が必要になってくる。そこで私たちは八重山商業高校観光コースの学生とその先生にその旨をお伝えしたところ、快く承諾を得ることができた。今後も八重山商業高校観光コースの方々と連携して準備を進めていく。

今後の活動計画、目標、意気込みなど

3.活動写真

・農作業



・サンゴ礁観察



・白保日曜市



今後の活動計画、目標、意気込みなど

3.活動写真

・市街地散策



・伊原間散策



・ヒアリング





今後の活動計画、目標、意気込みなど

目標、これからの活動

地産地消マップは今までのシステムを根本的に見直し、全く新しいものを作る。従来の地産地消マップではターゲットが「観光客」だけなのに対し、新マップでは「島にいる人(島民+観光客)」とし、作成する。そこでは地元でも知らないような豆知識なども掲載し、観光客だけでなく島民にも楽しんでもらえるほか、直売所以外の島に関する情報も載せることで、今まで課題であった“マップとサンゴ礁保全との関わり”を強くアピールできる利点がある。それによって石垣島に関わるあらゆる人に、一人でも多くサンゴ礁への興味を持ってもらい、また行動を促すことがこのマップの狙いである。石垣島サンゴウィークというイベント中に、伊原間でロゲイニングを実施する。目的は「人と地域資源(サンゴ)のつながりを考える」で、参加者には各ポイントを回った後サンゴアートによる写真立てを作ってもらい、さらにテーマ『サンゴと人間とのつながり』に関する写真を自由に1枚撮って来てもらうことで、常にサンゴを念頭に置いてロゲイニングをすることができる。参加者は楽しみながら、サンゴに対して考えを深めるきっかけになる。そこで、当日の下準備として、プレロゲイニングを実施する。そこで本番もコラボして下さる八重山商工高等学校の高校生たちと行動を共にし、イメージと問題点などを明白にする。それをもとに、3月の本番までに準備を進めていく。この2つの柱を軸に活動をしていく。

○活動計画

11月上旬: 現地でプレロゲイニング実施

12月下旬: ホームページ完成

NEWマップ配布

全国大学生環境活動コンテスト出場

3月上旬: 石垣島サンゴウィークにてロゲイニング実施

◎各メンバーの意気込み

3年生

江利川: 本プロジェクトの目的はサンゴ礁保全である。非常に難しい。その為辛さも絶えない。辛さ8割、喜び2割といったところだろうか。しかし私は辛さを辛いとは思わない。なぜなら辛さは喜びへのステップであるからだ。本プロジェクトは間もなく世代交代を迎える。後輩達には辛さを糧に最大限の努力をしてほしい。

山下: 今年で3年目。あとわずかで自分の活動期間は終わりますが、サンゴのため、後輩のため、このプロジェクトを支えてくれている人のためにも大きな成果を残していきたい。

吉川: 私自身三年目の活動となりました。記録ノートは四冊目となり、色々な思いを経験しました。最後の最後の最後まで諦めずに元気よく活動します!

2年生

大沢: 今年度は代表になりましたのでこれからプロジェクトが一層発展できるように精進したいと思います。

柳谷: 先輩方から受け継がれてきたこのプロジェクトの活動を知ってもらうためにも活動の幅をより広げていき、そしてかつての美しいサンゴ礁に近づけていきたい。



今後の活動計画、目標、意気込みなど

田中:現在の3年生が今年の11月で引退となり、今後は2年生が主体となって活動していく。自分たちがプロジェクトの中心となることをしっかりと自覚して、少しでもサンゴ礁保全という目的に近づけるように精進したい。また自分は来年3月に行うロゲイニングのリーダーにもなるのでこのロゲイニングを実施することで得られる成果を明確にし、プロジェクト全員で協力して、必ず成功させる。

改正:わたしは最後までサンゴ礁保全に尽力することを誓います!!

1年生

伊藤:このプロジェクトへの気持ちは体よりも大きいです。

田代:沢山の知識と経験を与えてくれる石垣島に感謝し、全力で取り組んでいく!

本田:感動を与えてくれた石垣島のサンゴ礁を守るために、島民主体のサンゴ礁保全を実現できるよう頑張りたいです。